

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金			担当部局	大臣官房		作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	厚生科学課		浅沼 一成		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法(平成16年法律第135号)			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」、「ニッポン一億総活躍プラン」				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「創薬支援ネットワーク」による創薬研究支援をさらに充実させるため、創薬支援基盤を整備する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	計算科学を利用して標的分子に結合する抗体、核酸等の医薬品候補の構造の探索・最適化を高速化し、新規医薬品候補化合物の創出に貢献することで、「創薬支援ネットワーク」による創薬研究支援をさらに充実させる。そのために、IT環境・研究環境を整備・強化し、官民共同によるオープンイノベーションを推進するための共同研究施設を新たに設ける。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	451	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	444	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲444	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	0	0	7	444	0			
	執行額			7					
	執行率(%)			100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)			2%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	官民共同研究施設の完了 年度予定数	整備の完了した施設数	成果実績	数	-	-	0	-	-
			目標値	数	-	-	1	-	1
			達成度	%	-	-	0	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	官民共同研究施設整備完了リスト								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	官民共同によるオープンイノベーションを推進するための 体制を整備	活動実績	件	-	-	1	-	-	
		当初見込み	件	-	-	1	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:当該年度執行額 Y:当該施設数	単位当たり コスト	百万円	-	-	7	444		
		計算式	X/Y		-	-	7/1	444/1	
政策	施策第目標2 研究を支援する体制を整備すること								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	施策	厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図ること(施策目標Ⅻ-2-1)									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	計算科学を利用して標的分子に結合する抗体、核酸等の医薬品候補の構造の探索・最適化を高速化し、新規医薬品候補化合物の創出に貢献するために施設の整備を行う。											
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-	-				
	達成度	%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業ある。							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	適正な公告期間を定め、一般競争入札としたが、応札者が1者となってしまった。 一者応札または一者応募とならないよう、仕様書等の見直しを進め、競争性を確保するよう努めていく。							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有								
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業の遂行について、妥当なコスト水準を維持している。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-									
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	設計のため地盤の調査を行ったところ、地盤が強固であることが判明し、当初計画していた深さまで掘ることが難しく、排水設備について計画を変更しなければならず、28年度中に事業を完了させることができなかった。								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			×	設計の変更に時間がかかり、28年度中に事業が終了しなかったが、進捗に合わせ予算を適切に執行し、29年度中に成果目標を達成するよう努める。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	設計の変更に時間がかかり、計画に遅れが生じている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-								
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	本事業は施設整備のための経費であり、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金とは、事業目的が異なるため、適切な役割分担が行えている。							
	所管府省名	事業番号	事業名									
	厚生労働省	0890	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金									

点検・改善結果	点検結果	当初スケジュールに対し遅れが生じているため、翌年度中に整備完了できるよう事業を遂行する。
	改善の方向性	設計の変更により時間がかかり、28年度中に事業が終了しなかったものの、事業の進捗に合わせて適切に予算を執行し、事業の目標も翌年度中に達成できる予定であるため、このまま継続して事業を実施する。また、成果目標(施設整備の完了年度)に沿った執行がなされるように注視していく。

外部有識者の所見

28年度執行遅れが生じた原因を十分に検討し、以後の執行に反映すること。(長崎 武彦)

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

28年度に執行の遅れが生じた原因を十分に検討し、以後の執行に反映すること。
 当初予定に対し遅れが生じているため、平成29年度をもって事業を終了できるよう遂行すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

28年度に執行の遅れた原因を充分検討し、29年度をもって事業が終了できるよう努める。

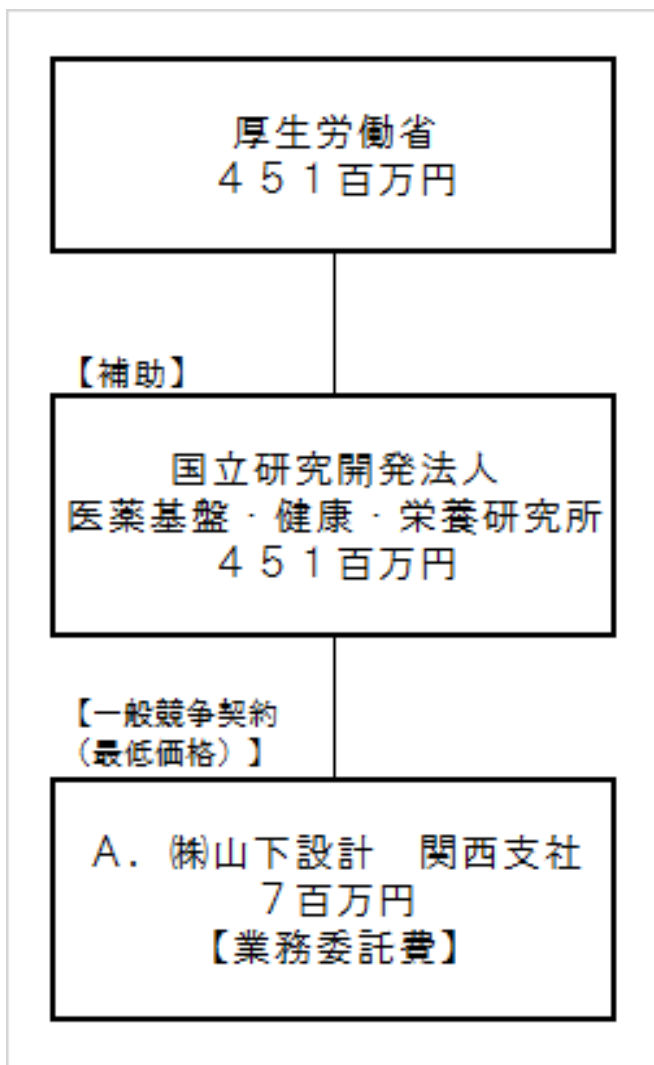
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	
平成25年度	—	平成26年度	—	平成27年度	—	
平成28年度	—					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)山下設計 関西支社			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務委託費	創業支援ネットワーク棟他増築及び改修工事 基本設計業務 1式	7			
	計		7	計		0

